

2024. 8. 21

## 【日本貿易統計（24年7月）】

### 輸出金額は円安がかさ上げる構図が継続

～数量指数は6ヵ月連続マイナスで実勢は軟調推移～



経済調査部 エコノミスト

藤田 敬史

#### ポイント

- 財務省の7月貿易統計によると、輸出金額は前年比+10.3%と8ヵ月連続のプラス。季調済前月比は+1.7%で2ヵ月ぶりのプラスとなった
- 円安により円換算額がかさ上げされる構図が続いており、輸出の実勢を示す数量指数は6ヵ月連続のマイナスと軟調推移
- 先行きは、海外景気の弱さがネックとなり、当面軟調な推移となる可能性が高い。輸出の本格回復は欧米の利下げの効果が景気に現れ始める2025年以降にずれ込むとみる

#### 1. 円安によるかさ上げが継続

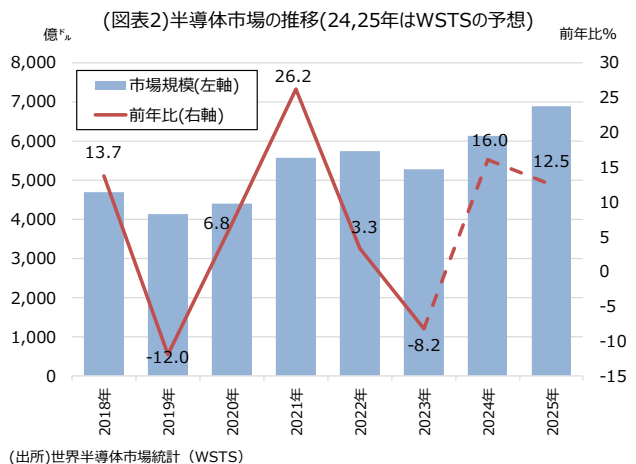
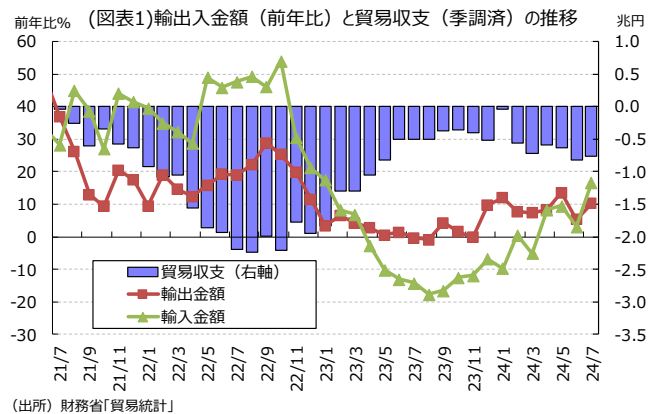
財務省から発表された7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+10.3%（6月：同+5.4%）、輸入金額は同+16.6%（同+3.2%）となった（図表1）。輸出は8ヵ月連続、輸入は4ヵ月連続のプラスとなった。前年7月の為替レート（税関長公示レートの平均値）は142.32円/ドルであったが、今年7月は159.77円/ドルと対前年で12.3%の円安となっており、引き続き円換算ベースの輸出入金額をかさ上げしている。

季調済輸出額は前月比+1.7%と2ヵ月ぶりのプラス、季調済輸入額は同+0.9%と3ヵ月連続のプラスで、季調済貿易収支は▲7,552億円（前月比▲7.9%）となり、前月から赤字幅は縮小した。

#### 2. 引き続き半導体関連が堅調、自動車は増加

金額ベースの商品別輸出では、半導体関連と自動車の寄与が大きかった。

半導体関連では、半導体等電子部品が前年比+25.2%（寄与度：+1.3%）、半導体等製造装置が同+27.8%（同：+0.9%）と、アジア圏の旺盛な需要に支えられ



高い伸びとなった。WSTS（世界半導体市場統計）が6月に発表した半期に一度の半導体市場予測では、2024年の半導体市場の成長率予想は前年比+16.0%（図表2）、2025年についても同+12.5%のプラス予想と、半導体市場は順調な回復基調を続ける姿が示されており、当面は半導体関連が輸出の下支えとなる展開が期待される。

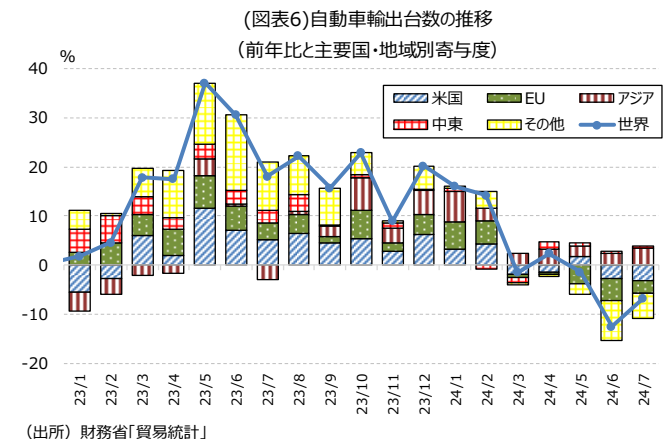
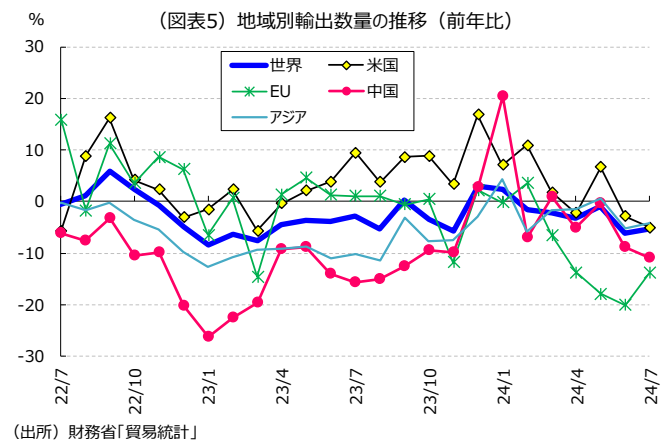
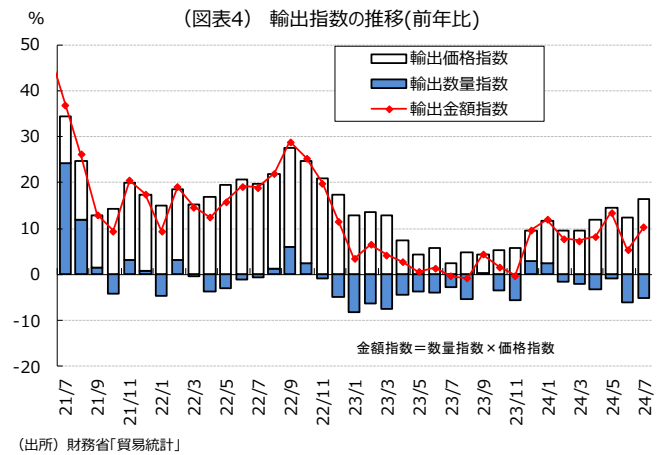
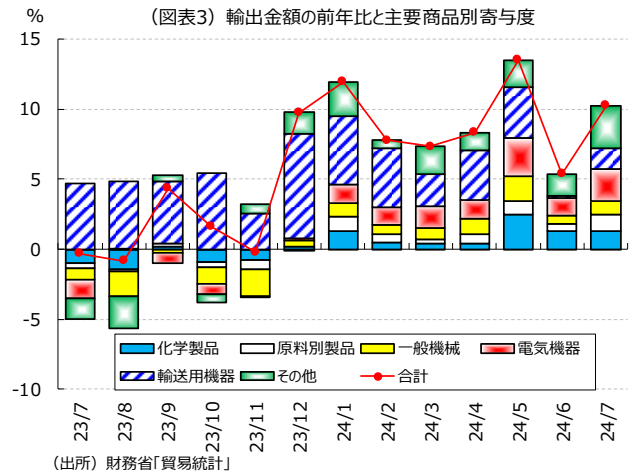
自動車は前年比+6.2%（寄与度：+1.1%）と伸びが大きく鈍化した前月から持ち直しの動きが見られた（図表3）。6月に発覚した大手自動車メーカーの認証不正問題に伴う生産・出荷停止の影響も緩和していくとみられるが、もともと自動車輸出の下支え要因となっていた挽回生産の動きは一巡しており、台数ベースではマイナスとなっている（後述）。

### 3. 輸出の実勢を示す数量は6ヵ月連続マイナスと軟調、本格回復は2025年以降にずれ込む

7月の輸出金額を価格指数と数量指数に分解すると、価格指数が前年比+16.3%（6月：同+12.3%）、数量指数が同▲5.2%（同▲6.2%）と、円安により価格指数は二桁の伸びが続いている一方、実勢を示す数量指数は6ヵ月連続のマイナスと軟調な推移となっている（図表4）。輸入は価格指数が同+11.6%（同+13.3%）、数量指数が同+4.4%（同▲8.9%）とこちらも円安の影響により価格指数は二桁の伸びが続いている。

輸出数量指数を相手国・地域別に見ると、米国向けが前年比▲5.0%（6月：同▲2.9%）、EU向けが同▲13.8%（同▲20.1%）、アジア向けが同▲4.2%（同▲5.3%）、うち中国向けが同▲10.9%（同▲8.9%）となっている（図表5）。米国、EU向けとも前年は半導体不足に伴う供給制約緩和等を背景に自動車需要が旺盛だったが、そうした動きが一巡したことにより、台数ベースでマイナスとなり（図表6）、自動車輸出は減速感が強まっている。

先行きの輸出は、海外景気の弱さがネックとなり、当面軟調な推移となる可能性が高い。中国の不動産不況は長期化が避けられない情勢である。米国経済も利上げの影響が顕在化しつつある。底を打ったとみられていた欧州景気も回復ペースは予想以上に鈍い。輸出の本格回復は欧米の利下げの効果が景気に現れ始める2025年以降にずれ込む可能性が高いと予測する。



本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 藤田 敬史

電話番号：03-6261-7947

e-mail：takafumi.fujita@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411